

健康百科

子どもの中耳炎

赤ちゃんや子どもに多い病気の一つである中耳炎。今回は代表的な2つの中耳炎について紹介します。

急性中耳炎

鼻や喉にいるウイルスや細菌が、咳などによって中耳に感染して急性の炎症を起こす病気です。耳が痛い、耳垂れが出る、熱が出るなどの症状や、機嫌が悪い、耳をよく触る、ミルクの飲みが悪いなどの特徴があります。抗生物質で炎症が治まることがほとんどですが、自己判断で薬をやめると滲出性中耳炎に移行したり、慢性化する原因になったりするので、処方された薬は最後まで飲み切り、しっかり治しましょう。

滲出性中耳炎

急性中耳炎の慢性化や鼻と耳をつなぐ管(耳管)の機能不全などにより、中耳に滲出液と呼ばれる液体がたまる病気です。聞こえが悪くなる症状や、テレビの音を大きくしたがるなどの特徴があります。一度かかると癖になり、再発しやすいため、治療が数年にわたることも少なくありません。通常は、抗生物質や抗炎症剤を使い治療を行います。

冬は、鼻や喉から感染することが増えていきます。急性中耳炎は、風邪の合併症として多く発症するので注意が必要です。子どもはうまく症状を訴えることができません。気になる行動や様子があったら、早めにかかりつけ医に相談しましょう。

【問】 子育て包括支援課Tel48-6881

人権啓発絵手紙の入選作品が決定しました

人権教育啓発活動の一環として「なかよし古河市」人権啓発絵手紙を募集したところ、1,748点の応募がありました。入選した10点は、4月に配布予定の市民人権啓発資料に掲載します。

【問】 生涯学習課Tel22-5111

<入選作品の一部>



山田寿允さん



深谷心太郎さん



山戸楓さん

ご存じですか？ 成年後見制度

成年後見制度とは、認知症・知的障がい・精神障がいなどによって物事を判断する能力が不十分な人を、その代理人(成年後見人等)が法的に支援する制度です。

この制度には、すでに判断能力が不十分な人のための「法定後見制度」と、将来判断能力が不十分になったときに備えてあらかじめ成年後見人等を決めておく「任意後見制度」の2種類があります。

【問】 高齢介護課Tel92-4921、障がい福祉課Tel92-4919



成年後見人等の支援内容

本人の意思を尊重し、体の状態や生活状況に配慮しながら支援を行います。

◆成年後見人等ができること

- (例)・日常的な金銭管理
- ・福祉サービス等の契約
- ・入院、施設等入所契約
- ・相続の遺産分割等

◆成年後見人等ができないこと

- (例)・身元引受人や保証人になること
- ・手術等の同意
- ・買い物や通院の付き添い等

こんなときに利用できます

- ・認知症の父のために、父の口座から預金を引き出そうとしたら、引き出すことができなかった
- ・認知症の母が悪徳商法の被害に遭う心配がある
- ・1人暮らしで老後が心配。自宅で生活ができなくなったら老人ホームに入所したいが、その手続きや支払いをしてほしい

成年後見制度に関する相談窓口

成年後見サポートセンターこが Tel23-1108
(受付時間：月～金曜日、8時30分～17時)

こがキラPhotoクラブ

私のオススメ!!

古河駅から程近い一角で、張り紙が目立つ古道具屋さん。古道具初心者でも、物知りなご主人が「買わなくても見てみるだけでいいんだ」とお店の楽しみ方を教えてください。

40年以上続くお店で1番の売れ筋は、なんと中古自転車！ご主人が自らメンテナンスをしているので格安で購入できる穴場のお店です。

クセつよ?! 目も心も豊かにしてくれる古道具店
マミーコンチネンタル



こがキラメンバー まや

【店舗概要】

営業時間：10時～18時

住所：中央町1-2-37

定休日：月曜日

Tel.22-3300